

学校だより

豊かっ子



喜多方市立豊川小学校
令和3年5月24日(月)
発行者 校長 遠藤 信恵
第4号

【教育目標】 健康で自らを育てる 心豊かな児童の育成
◎ (心も体も) つよい子 ◎ (自然と友達に) やさしい子 ◎ (真剣に) まなぶ子

令和3年度の学級スローガンを紹介します!



昨年度末に全校児童で創り上げた学校スローガン「夢を持ち 協力し合う やさしさあふれる豊かっ子」を受けて、各学級では、自分たちがめざす姿を真剣に話し合い、学年スローガンを決定しました。各スローガンからは、子ども達の思いや願い、そして意欲が伝わってきます。



【玄関の学級写真とスローガン】

* よくかんがえて がんばる やさしい1年生
* ベン強やうんどうは ぜんしゅうちゅう 元気でやさしい2年生
* めあてにむかってがんばるクラス! 3年生
* 目標に向かって 学び助け合う かっこよい4年生
* 仲良くし 協力できる 笑顔あふれる 5年生
* 助け合い 正義 優しさ 真面目 がんばるぞ6年生
* 元気いっぱい 楽しさあふれる おおぞら学級

学級スローガンの姿に近づけるよう、子ども達が主役となる学級づくりを推進していきます。

一人一台、タブレットの活用が始まりました

「一人一台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子どもを含め、多様な子ども達を誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育環境を実現する。」という国の GIGA スクール構想を受け、喜多方市でも児童一人一台の学習用タブレットとポケット Wi-Fi ルーターが貸与されました。それにより、授業での学習内容の習熟度が深まるよう指導に生かすだけでなく、臨時休業時等にオンラインでやり取りを行ったり、インストールされたアプリを利用して個別に学習を行ったりすることができるようになります。



【「ここをクリックすれば?」】



【1年生も真剣に画面とにらめっこ】

今回、ICT 教育担当の新田先生と担任との TT 指導により、全学年で基本操作についての学習を終えることができました。子ども達の発達段階や経験の有無によっても操作の習得には差が見られますので、今後も、子ども達が授業や家庭でタブレットを有効活用できるよう指導を続けていきます。

なお、同意書がすべて集まった学年から家庭へ持ち帰り、接続確認を行っていただくようになります。ご協力をよろしくお願いいたします。

突然の臨時休業に備えて ～お願い～

この度の臨時休業では大変ご心配をおかけいたしました。今後も感染拡大が心配される状況が続きますので、突然の臨時休業に備えて、学習課題、学習・生活計画表、なわとびカードを各家庭で保管いただくようにします。タブレット活用等の準備も進めますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

田植えを終えました ～5・6年生 農業科～

4月12日に子ども達が蒔いた種籾が順調に育ち、20日(木)に農業支援員の只浦さんと手代木さんの指導のもと、5・6年生が田植えを行いました。

まずは、只浦さんからじょうばんでの筋引きの仕方を教えていただき、意欲満々の数人の男子が筋引きを体験しました。いよいよ田植えになると、恐る恐る田んぼに足を入れ、泥に足を取られながら悪戦苦闘していた子ども達でしたが、徐々に慣れて



【じょうばんでの筋引き】



【慣れた手つきの6年生】

きてスムーズに活動できるようになりました。

周りの機械で植えた整然とした田んぼと見比べると実に個性的(?)な出来映えでしたが、只浦さんから「上手にできた。」とほめていただき、子ども達はとても嬉しそうでした。最後に手代木さんから、なぜ3～5本の苗を植えるのかななどを教えていただき、稲の成長の仕組みも学ぶことができました。

子ども達が田植えを行った田んぼは、セブンイレブン米室店駐車場のすぐ横にあります。お近くを通った際には、ぜひ稲の生長の様子をご覧ください。

花いっぱい美しい環境を ～緑の少年団～

7日(金)、5年生の「緑の少年団」の活動がスタートしました。自分たちで選んだニチニチソウやベゴニア等の苗をプランターに植え、校庭から昇降口までの通学路に並べました。1年間、「緑を守り育てる」という目的のもと、学校の環境保全に取り組んでいきます。また、他の学年の子ども達も花壇作業を行い、マリーゴールドやサルビアなどの色鮮やかな花々で学校花壇が彩られました。花壇作業や水やり、除草作業などを通して自然にふれ、友達と協力し合う大切さを学び、豊かな心を育てていきたいと思えます。



【緑の帽子がトレードマーク】



子ども達の読書活動を推進します



【読み聞かせボランティア：山崎さん、佐々木さん、瓜生さん】

これまで、読み聞かせボランティアは山崎三枝子さん(高吉二区)お一人でしたが、5月から、佐々木洋子さん(一ノ堰一区)と瓜生玲子さん(荒分)にもボランティアとしてご協力いただけることになりました。お陰様で毎月、全学年で読み聞かせを行うことができる

ようになります。また、今年度も、図書委員会の子供達が、自分で選んだ絵本で1年生への読み聞かせを行うなど、読書活動の推進に取り組んでいます。

子どもの読書活動は、「言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きるための力を身につけていく上で欠くことのできないもの」(『子供の読書活動の推進に関する法律』より)



【学校図書館司書：菊地先生】

です。しかし、インターネットやゲームの普及、子ども達の生活の変化により、子ども達の読書離れが指摘されています。本校でも、メディア・セレクト週間の結果から、1週間に



【図書委員の読み聞かせ】

1冊も本を読まないという子どもが各学年で見られ、読書冊数には大きな差があります。図書ボランティアの皆さんや図書館司書の菊地先生にご協力いただきながら、子ども達が本の楽しさを味わい、自分から進んで読書に取り組めるよう、これからも環境整備に取り組んでいきます。